

先日、第1回「『まち』とともにあゆむ学校づくり懇話会」（学校関係者評価委員会）を開催いたしました。その時の内容をご報告いたします。

令和元年度 第1回

「『まち』とともにあゆむ学校づくり懇話会」

(学校関係者評価委員会) 記録

- 日 時 令和元年6月8日(土) 15時00分～16時00分
- 会 場 横浜市立丸山台小学校 校長室
- 参加者 糸氏 晃子 (丸山台小学校 PTA 会長)
渡辺 雪子 (丸山台中学校 PTA 会長)
坂本 善彦 (いずみプラザ上永谷自治会長)
荒木 宏子 (丸山台小学校文化・スポーツクラブ会長)
鶴田 櫻 (放課後キッズクラブ主任指導員)
榎田 卓央 (丸山台中学校 校長) 梅本 香 (丸山台保育園園長)
新井 篤志 (丸山台小学校 校長) 青柳 英樹 (丸山台小学校副校長)
田島 紀世 (丸山台小学校 教務主任) 松野 鎮 (丸山台小学校 総務部副部長)
喜多村美弥子 (丸山台小学校 研究部部長) 広瀬 美香 (丸山台小学校 指導部部長)
諸岡 文昭 (丸山台小学校 児童支援専任)

○ 内容

司会：副校長 記録：田島

1 学校長挨拶、会員委嘱

- ・会員委嘱、参加者自己紹介

2 学校から 説明

- ・令和元年度 学校経営方針について (学校長)
- ・中期学校経営方針具体的取組について (喜多村・広瀬・田島・松野・諸岡)
- ・特色ある教育活動について (喜多村・広瀬・松野)
- ・学校教育ボランティアについて (副校長)
- ・年間行事について (田島)
- ・弁済システムなどについて (諸岡)

3 意見交換

- ・中学校ブロックでの合同授業研究会や研修会を行っている。年間を見通して計画的に教育活動をしていくことで、子どもたちが小学校から中学校へスムーズに移行していかれるようにしたい。子どもたちの交流を含め、引き続き連携を図っていきたい。
- ・異なった小学校から進学してきても、中学校では互いを尊重し合って仲良く過ごしている。3小1中のよさを今後も維持していきたい。
- ・保育園から小学校へのつながりを意識して活動できている。日常の取り組みが積み重なってきている。栽培や飼育、食育など、発達に合わせた取り組みを大事にし、もっと一緒にできることを考えてつなげていきたい。
- ・地域に子どもが少なくなっていくと、つながりも少なくなっていく。地域住民が学校の活動に関心をもつことで、共通の話題ができる。心を育てるような新しい試みが子どもから生まれていくように促していきたい。
- ・学校の利用について、休日に使用した後、平日に子どもたちがスムーズに使えるように心がけている。学校の位置づけ(垣根)が低くなり、ルールが無し崩しになっている面もある。利用者間で連絡し合いながら対応し、安全上の点からも気を付けて利用していきたい。
- ・学校と連携しながら、充実した活動をしていきたい。
- ・子どもたちは、「みんなで仲良く」という意識が高まっている。学校目標、中期取組等を保護者にも伝え、学校と保護者が結びつくようにしていきたい。
- ・「食の学び」では、6年間の積み重ねが生きている。運動面が弱いことを実感しているので、日常の経験、純粋に外で遊ぶことなどを大切にしていきたい。